

豊庄だより



第 737 号 2022 年 12 月 20 日

福岡市早良区南庄 2-26-13
社会福祉法人林生会豊庄保育園
園長 西尾 達

今年の生活発表会もコロナ禍のため入れ替え 3 部制で行いました。
トップバッターはさくら組。絵本「だるまさんが」シリーズを題材にした
「表現」でした。絵本のキャラクターになってステージに登場し、「どてっ」
「ぷしゅー」「びろーん」など体全体で表現しました。一番かわかったのは、「ぎゅっ」かな～



次は、もも組の「ももさんごきげんいかが」。「てくてく てくてく あるいてきて♪」と歌に合わせてステージに登場。
「お返事ハイ」など日ごろの保育の様子を再現しました。



第 1 部の最後は、すみれ組。劇「はらぺこあおむし」をしました。バナナが好きなあおむし、こんぺいとうが好きなあおむし、お芋が好きなあおむし、キノコが好きなあおむしとすみれ組オリジナルのストーリーでした。



第2部は、ゆり組の劇「ヘンゼルとグレーテル」から始まりました。絵本の内容をもとにみんなで考えを出し合いながら、ストーリーや歌と振り付けを決めたと担任から聞きました。決められた台本にとらわれず、オリジナルなものを作り出していく…。素晴らしい取り組みです。※歌「ドレミのまほう」、合奏「小さな世界」もグッドでした。



続いて、ばら組の劇「くれよんのくろくん」。きいろ、あか、みどり、あおのくれよんたちが作っていった絵を、くろ君が黒一色に変えてしまいますが、それがシャープペンお姉さんによって素敵なクリスマスツリーに変わりました。踊りや振り付けもよくできていました。



第3部はひまわり組。発表したのは、劇「十二支のおはなし」、歌/合奏「ビリーブ/あの日川の川」。これまで積み上げてきたものが開花した内容でした。当日、全員が参加できなかったことはとても残念でしたが、それをみんなでカバーしていました。その姿にも感動しました。※下の写真は、全員が写っている第2回リハーサルのときのものです。

